

野蒜復興新聞

野蒜地区復興協議会 発足

会場には約200名が参加した



11月25日(日)野蒜市民センターにおいて、野蒜地区復興協議会設立総会が開催されました。この協議会が目指すのは「野蒜北部丘陵団地と野蒜地区の復興計画を作成し、復興を促進すること」であり住民主体でまちづくりを実施します。



野蒜地区復興協議会設立総会では、東松島副市長、野蒜まちづくり協議会会長から挨拶をいただきました。議題に入りました。まずは協議会の規約について音読しながらの確認。その後協議会役員の選任において各関係者から推薦された役員案が提案され、会長、副会長、幹事、会計、監事が決定しました。

選任されたそれぞれの役員さんから自己紹介

- 野蒜地区復興協議会役員**
- 会長 : 成澤 孝一
 - 副会長 : 和泉勝夫 / 石田 信一
 - 幹事 : 石井典男 / 寺嶋正泰
 - 木島照男 / 内海國雄
 - 和泉勝夫
 - 会計 : 伊藤昭一
 - 監事 : 和泉 浩 / 浅野健一

参加者からは「今後の協議の場にはぜひとも若い世代、大学生や高校生にも参加してもらいたい」とコメントしていた。随時部会員の募集を呼びかけていきますのでお気軽にご参加ください。

若い世代にも協議へ参加してもらいたい

平成24年度の事業計画は3つ。①野蒜まちづくり計画の検討。ここでは野蒜地区復興の指針となる地区復興まちづくり計画について市の計画と整合を計りながら協議する。②野蒜地区土地利用計画の基本構想の検討。ここでは野蒜北部丘陵団地のまちづくりルールを定め、協議により移転者の面地を決定する。

野蒜地区復興協議会

5つの専門部会で構成



復興部会

・地区全体、土地利用計画に関すること

医療福祉部会

・医療、福祉、子育て支援に関すること

産業振興部会

・地区の産業や観光振興に関すること

教育施設部会

・教育施設の整備に関すること

高台移転部会

・集団移転先のまちづくりに関すること

今後は左に示した5つの部会で協議をしていくことになっていきます。中でも高台移転部会において、2013年2月中旬頃までに、新たな市街地が形成される野蒜北部丘陵団地のまちづくりルートを定め、協議により集団移転者の面地を決定し

なければなりません。今後はそれまでの期間に、週に一度程度の協議の場をもうけることで計画を立てています。また各部会のメンバー構成ですが、人数制限は設けておりません。老若男女なるべく多くの方に参加してもらい、それぞれの思いや考えを出し合い、皆さんで納得いくまちづくりを実現していきたいと考えております。自分たちで自分たちの街をデザインできる唯一の機会です。ご参加をおまちしております。

今後話し合いを進めて行く5つの専門部会



UR 都市機構所長から説明

設立総会の後、UR都市機構から今後の工事の流れについて配布資料をもとに説明がありました。今後の工事の流れは、①準備工事②伐採工事③防災工事④地盤改良工事⑤切盛土工事⑥インフラ整備⑦道路宅地整備、という流れで実施していくということでした。今後の具体的な工事の日程なども決定次第随時広報を通じてお知らせしていくといたします。（総会資料は野蒜市民センターで配布しております。）

野蒜地区復興協議会 部会員を募集

まずは見学からでも問題ありません。お気軽にご参加ください。

今後の工事 予定と概要